



27 フロントフォーク(タイプ1) + ディスクブレーキキット

取扱説明書

(8インチ/バーハンドル用)

商品番号：06-01-0019

適応車種及びフレーム番号

Monkey / Gorilla : Z50J 1300017 ~

: AB27 1000001 ~

Monkey (FI) : AB27 1900001 ~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。
他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
分解、取り付け作業はホンダサービスマニュアルモンキー/ゴリラ用を必ず参照し確実に行って下さい。
当キットは8インチホイール専用です。
当キットにはヘッドライトステー、ウインカーステー、ステアリングハンドルは含まれていません。別途お買い求め下さい。
ヘッドライトステーは弊社アルミヘッドライトステー(09-03-007、008)及び(09-03-075)をご使用下さい。
ノーマルキャブ使用車はスロットルが使用出来ない為、取り付け出来ません。(別途、ホンダ純正部品をご用意して頂く必要があります。)
ステアリングハンドルは弊社レーシングアップ、ミドルアップ、セミアップタイプ、BATタイプの使用が可能です。

注意 この内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業を行う際は、平坦で足場のしっかりした所を選び車両を安定させた状態で行って下さい。
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に行って下さい。(ネジ部の破損及び脱落の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して下さい。
- ・フォークトップボルトを取り外す際にフォークスプリングによりトップボルトが飛び出す危険性がありますので、十分注意して下さい。
- ・製品及びフレームにはエッジや突起がある場合があります。作業時は手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因になります)
- ・ブレーキフルードはなるべく皮膚に触れないようにし、作業後は十分手洗いを行って下さい。(手荒れの原因になります)
- ・ブレーキフルードは塗装面、樹脂部品、ゴム製品類等に付着すると劣化及び損傷させるので作業は十分注意して行って下さい。付着した場合は速やかに水洗いをして下さい。(部品の損傷、劣化の原因となります。)

警告 この内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術、知識などが無い方は作業を行わないで下さい。(部品破損などの原因により、転倒、事故につながる恐れがあります。)
- ・走行前には、必ず各部の取り付け状態を点検し、緩み等が無いかを確認して下さい。又、走行中異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ異常個所の点検を行って下さい。(そのまま走行すると事故につながる恐れがあります。)
- ・走行前には必ず各部を点検し、ボルト、ナットの緩みやオイル漏れが無いかを確認して下さい。又、走行中に異常が発生したと思われる場合は直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常個所の点検を行って下さい。異常が認められた場合は、絶対にそのまま走行しないで下さい。
- ・ブレーキフルードは指定のブレーキ液を使用して下さい。銘柄の異なるブレーキ液を混用しないで下さい。(トラブルの原因、化学変化の恐れがあります。)
- ・ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させないで下さい。付着した場合はブレーキパッドは交換しブレーキディスクローターは脱脂して下さい。(事故につながる恐れがあります)
- ・ブレーキの取り付け作業については熟練したメカニックに依頼し、専用の設備、工具のある工場などで行って下さい。(事故につながる恐れがあります)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

当製品を使用してフロントをディスクブレーキに変更するには、下記の製品が必要です。

取り付けネジサイズ10mmのミラー

純正ミラー及び取り付けネジサイズ8mmのミラー使用時はミラーアダプター(2個入り)が必要

フロントブレーキを油圧ディスクにした場合、フロントマスターシリンダーを取り付ける為、STDスロットルハウジング(ブレーキレバー一体式)を取り外す必要がありますので、当社製ハイスロットルセット若しくはホンダ純正部品が必要です。

当社製品

スタンダードハイスロットルセット アウター長710mm:09 02 0222、アウター長810mm:09 02 0221

ハイスロットル(FI対応)09 02 0223(Monkey(FI)に取り付けの場合、必要となります。)

90°ベントハイスロットルセット アウター長700mm:09 02 021

インポリュートハイスロットルセット アウター長710mm ボディーカラー ブラック:09 02 0230

ガンメタ:09 02 0232

アウター長810mm ボディーカラー ブラック:09 02 0231

ガンメタ:09 02 0233

ホンダ純正部品

スロットルハウジング(1個) (53168 166 000)

スロットルハウジング(1個) (53167 GE4 000)

パンスクリュー 5×22(2個)(93500 05022 0G)

STDキャブレター及び当社製KEIHIN PC18キャブレター用

フレームNO.Z50J-1300017~1510400の車両に当製品を取り付ける場合、別途下記部品が必要です。

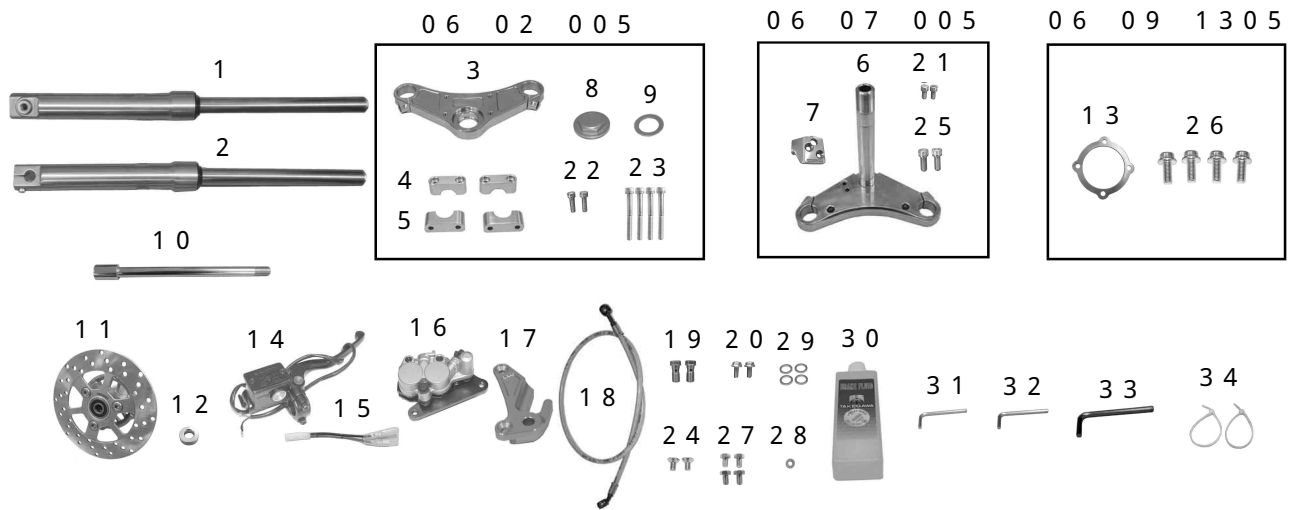
遠心クラッチ車

コンビネーションスイッチASSY

マニュアルクラッチ車

クラッチレバー&コンビネーションスイッチASSY

~ 商 品 内 容 ~



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数	番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	L.フロントフォークASSY.	1	51522 GEF T00	1	18	フロントブレーキホースCOMP.	1	45120 GEF T00	1
2	R.フロントフォークASSY.	1	51422 GEF T00	1	19	パンジョーボルト 10×1.25	2	00 07 0007	1
3	フォークトップブリッジ	1			20	フランジボルト 6×15	2	00 00 0114	4
4	ハンドルアッパーホルダー	2	54411 165 T00	1	21	ソケットキャップスクリュー 6×12	2	00 00 0116	6
5	ハンドルロウホルダー	2	54412 165 T00	1	22	ソケットキャップスクリュー 6×20	2	00 00 0043	10
6	ステアリングステム	1			23	ソケットキャップスクリュー 6×50	4	00 00 0044	3
7	ステアリングロックブラケット	1	53601 GEF T00	1	24	フラットヘッドクリュー 8×16	2	00 00 0239	4
8	ステムナット	1	54303 165 T00	1	25	ソケットキャップスクリュー 8×20	2	00 00 0117	4
9	ステムナットワッシャ	1	90503 165 T00	1	26	フランジソケットキャップスクリュー 8×20	4	00 00 0238	4
10	フロントアクスルシャフト	1	44301 GEF T10	1	27	6角ボルト 6×10	4	00 00 0307	10
11	フロントホイールハブASSY.	1	06 08 1511	1	28	ブレーンワッシャ 6mm	1	00 00 0086	10
12	カラー 7.5mm	1	44310 181 T00	1	29	シーリングワッシャ 10mm	4	00 07 0010	10
13	ホイールスパーサー 3mm	1	44600 181 T10	1	30	ブレーキフルード(BF 4)	1	06 08 0019	1
14	フロントブレーキマスターシリンダーASSY.	1	06 08 1166	1	31	6角棒レンチ 5mm	1		
15	サブコード	1	37600 KCZ T00	1	32	6角棒レンチ 6mm	1		
16	フロントキャリパーASSY.	1	06 08 115	1	33	6角棒レンチ 10mm			
17	フロントキャリパーブラケット	1	45231 165 T02	1	34	インシュロックタイ 2.00mm	2	00 00 0179	10

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

～ 取 り 付 け 要 領 ～

分解

1. フロントのアクスルナットを緩めます。
2. リアメンテナンススタンドとエンジン下部に適当な台を置き、車両を安定させた状態で作業を行います。
フロントタイヤが少し浮く程度の高さにします。
3. ヘッドライトのパンスクリューを外し、ストップランプスイッチ、ウインカースイッチの配線を外します。
4. スロットルハウジングのパンスクリューを外し、スロットルハウジング、スロットルパイプを取り外します。
5. ウインカースイッチのパンスクリューを外し、ウインカースイッチを取り外します。
6. ヘッドライトケースの左右のボルトを外し、ヘッドライトを取り外します。
7. ホーン、ウインカーを取り外します。
8. アクスルシャフトを抜き取り、フロントホイールを外します。
9. トップブリッジ裏面のハンドルローホルダーのナットを外し、ステアリングハンドル ASSY を取り外します。
10. フォークボルト、ステムナット及びワッシャを外し、トップブリッジを取り外します。
11. トップスレッドを外し、フォーク ASSY を取り外します。
ベアリングのボールを無くさないようにして下さい。
12. ノーマルのステアリングシステムからハンドルロックを取り外し、ステアリングロックブラケットに取り付けます。
トルク：9 N・m
(0.9 kg f・m)



組み付け

13. ステアリングロックブラケットをソケットキャップスクリュー (6 × 12) でステアリングシステムに取り付けます。
トルク：12 N・m
(1.2 kg f・m)
- 
14. ステアリングシステムのボトムコーンレースをポンチドライバーやタガネ等取り外し、ダストシール、ダストシールワッシャを取り外します。ジュラルミンシステムシャフトにダストシールワッシャ、ダストシール、ボトムコーンレースをそれぞれ取付けます。
- 
- ボトムコーンレース
ダストシール
- ダストシールワッシャ
15. トップコーンレース及びボトムコーンレースにグリスを塗布し、ベアリングをステアリングシステム、ヘッドパイプに取り付け、トップコーンレースをヘッドパイプに取り付けます。
ベアリングのボールが樹脂に組み込まれていないタイプの場合はボトムコーンレース、トップコーンレースにそれぞれ2個ずつ取り付けて下さい。
ベアリングはグリスを塗る前に洗油で洗い、ゴミを付着させないで下さい。
- 

16. ステアリングシステムをヘッドパイプに通し、トップスレッドは手でいっぱいに締め付けます。左右に4、5回躍動させベアリングをなじませ、約1/8回転戻し、ガタが無く軽く動くことを確認して下さい。



17. ステアリングシステムにフロントフォークのアクスルホルダーにブレーキの回り止めが付いている方を進行方向に向かって右側に通し、ステアリングシステム割り締めボルト (8 × 20) を仮り締めします。



18. 左側も右側と同様に取付けます。
フロントフォークランプタイプのヘッドライトステーを使用する場合は、ヘッドライトステーをフロントフォークに通して下さい。



19. ワイヤーハーネス等の取り回しがノーマルと同じになるようにしながらトップブリッジをフロントフォークとステムシャフトに通し、ステムワッシャを入れてステムナットを指定トルクで締め付けます。
トルク：59 N・m
(6.0 kg f・m)



20. ステアリングシステムの割り締めボルトを緩め、インナーチューブの突き出し量が左右同じになるように調節します。



21. ステアリングシステムの割り締めボルトを指定トルクで締め付けます。
トルク：26 N・m
(2.7 kg f・m)

22. トップブリッジの割り締めボルト (6 × 20) を指定トルクで締め付けます。
トルク：12 N・m
(1.2 kg f・m)

23. ステアリングハンドルパイプを、ハンドルホルダーにセットし、トップブリッジに取り付けます。ハンドルホルダーのソケットキャップスクリュー(6×50)を指定トルクで締め付けます。
トルク: 12 N・m

(1.2 kgf・m)

ハンドルホルダーは前後の隙間が同じになる様に締め付けて下さい。



24. マスターシリンダーASSY、ウイナースイッチ(又はコンビネーションスイッチ)左グリップをハンドルに取り付けます。

トルク

マスターシリンダー ASSY : キャップスクリュー 12 N・m (1.2 kgf・m)



25. ホーンを取り付けます。(写真はステアリングシステムに取り付けた場合です。)ステアリングシステムに取り付ける場合、写真の様にステアリングシステムを折り曲げ、フランジボルト(6×15)で取り付け、締め付けます。

トルク: 12 N・m

(1.2 kgf・m)



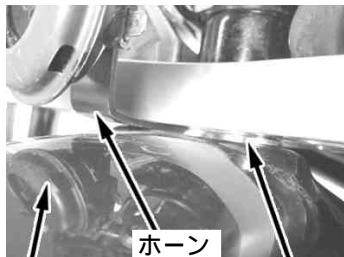
約40mm



ノーマルフロントフェンダーを使用し、ホーンをステアリングシステムに取り付ける場合、フロントフェンダーとステアリングシステムの間にはホーンを挟み、もう片側は1.5mm程の厚さのワッシャを挟むようにして取り付け、フランジボルト(6×15)で締め付けます。

トルク: 12 N・m

(1.2 kgf・m)



ノーマルフロントフェンダー

ワッシャ

26. フロントホイールのハブとホイールを固定しているナットを取り外し、ホイールとハブを分離します。

27. 弊社フロントホイールハブASSYをエアバルブがディスクローターの反対側になるようにし、スペーサーをホイールとハブで挟むようにフランジキャップスクリュー(8×20)でホイールに取り付け、仮締めします。

弊社8インチアルミホイールを使用する場合、スペーサーは必要ありません。



フロントホイールハブASSY

スペーサー

ホイール

28. キャリパーをディスクローターにセットします。



29. キャリパーをソケットキャップスクリュー(8×12)でキャリパーブラケットに取り付け、締め付けます。

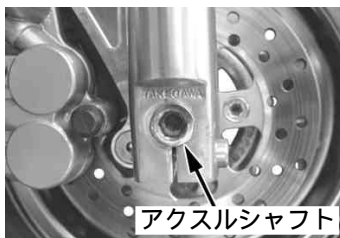
トルク: 25 N・m

(2.5 kgf・m)

ボルトのねじ部分にネジロック剤を塗布して下さい。



30. キャリパーブラケットの切り欠き部をフロントフォークの凸部に合わせ、スピードメーターギアボックス、カラー7.5mmをハブにセットした状態で付属のアクスルシャフトを進行方向に向かって右側から通し、仮締めします。



アクスルシャフト

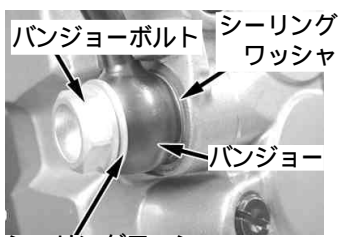
31. ホイールとハブを固定するフランジキャップスクリューを締め付けます。

トルク: 25 N・m

(2.5 kgf・m)



32. ブレーキホースの曲がっている方のバンジョーを、2枚のシーリングワッシャで挟むようにしてバンジョーボルトでキャリパーに取り付けます。



バンジョーボルト

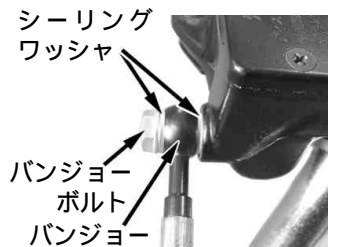
シーリングワッシャ

バンジョー

シーリングワッシャ

33. リバウンドしてもブレーキホースが突っ張らないようにマスターシリンダーASSYまで取り回します。

34. マスターシリンダーASSYにバンジョーを、2枚のシーリングワッシャで挟むようにしてバンジョーボルトで取り付けます。



シーリングワッシャ

バンジョーボルト

バンジョー

35. ブレーキホースが他の部分と干渉しないようにタイラップで固定し、余った部分はニップ等で切り取ります。パウンド、リバウンド時にホースが突っ張らないように固定して下さい。

トルク

: バンジョーボルト 15 N・m (1.5 kgf・m)

36. ストップスイッチサブハーネス、ウイナースイッチ(コンビネーションスイッチ)の配線を接続します。

Monkey(FI)の場合ストップスイッチサブハーネスとサブコードを接続し、配線を接続します。

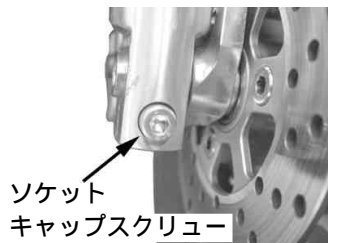
37. リアメンテナンススタンドと台から車輛を下ろします。

38. アクスルシャフトを締め付けます。

トルク: 60 N・m (6.0 kgf・m)

39. フロントフォークのソケットキャップスクリューを締め付けます。

トルク: 20 N・m (2.0 kgf・m)



ソケットキャップスクリュー

40. ブレーキのエア抜きを行います。ブレーキのエア抜き要領は、別紙を参照して下さい。

フロントフォークオイルの交換要領

1. フォークトップボルトを緩めます。
2. アクスルシャフトの側面にあるソケットキャップスクリューを取り外します。
3. フロントのアクスルシャフトを取り外します。
4. リアメンテナンススタンドとエンジン下部に適切な台を置き、車両を安定させた状態で作業を行います。
フロントフォークがちょうど伸び切る程度の高さにすると作業がしやすくなります。
5. アクスルシャフトを抜き取り、フロントホイールを外します。
6. トップブリッジ、ステムの割り締めボルトを緩めフォークを取り外します。
7. トップボルトを飛び出さないよう注意して外します。オイルパンなどを用意し、フォークを逆さにしてスプリングを抜き取ります。
8. インナーチューブを伸縮させフォークオイルを抜き取ります。
(数分間インナーチューブを下側にし放置して下さい。)
9. フロントフォークを立て、フォークオイルを注入します。
フォークオイル粘度：40 mm²/s (ASH 40)
フォークオイル量：85 cc (1本)
オイルレベル：73 mm
フォークオイル交換時はASH 40又は、他メーカーの場合10番もしくは15番のフォークオイルをご使用下さい。
オイルレベルはインナーチューブを数回、静かに伸縮させ、混入しているエアを抜く。
インナーチューブを一杯に縮めた状態にし、オイル面が安定してから測定する。
10. フォークスプリングに付着したオイルを拭き取り、ピッチの狭い方を底に向けスプリングを入れます。トップボルトを取付け、仮締めします。
11. フロントフォークをステム、トップブリッジに取り付け、割り締めボルトを仮締めします。
12. トップボルトを指定トルクで締め付けます。
トルク：20～24 N・m (2.0～2.5 kgf・m)
13. ステアリングステム、トップブリッジの割り締めボルトを指定トルクで締め付けます。
トルク：ステアリングステム 26 N・m (2.7 kgf・m)
トップブリッジ 12 N・m (1.2 kgf・m)
14. フロントホイールを、外したときと逆の手順で取り付けます。
トルク：アクスルシャフト 60 N・m (6.0 kgf・m)
ソケットキャップスクリュー 20 N・m (2.0 kgf・m)

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721 25 1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>

ブレーキのエア抜き要領

⚠ 注意

ブレーキ液補給時にゴミや水を混入させない事。
 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
 抜き取ったブレーキ液は再使用しない事。
 シーリングワッシャは再使用しない事。
 ブレーキ液は塗装、プラスチック、ゴム面を傷めるので部品類に付着させない事。
 ブレーキホースを外すなど油圧系統に空気が混入した場合は、油圧系統のエア抜きをする事。
 規定トルクは必ず守る事。
 ブレーキ液は必ず指定のブレーキ液を使用する事。

マスターシリンダーASSYの2本のフラットパンスクリューを外しマスターシリンダーキャップ、ダイヤフラムを外します。



キャリパーのブリーダーバルブに透明なブリーダーホースをつなぎホースの反対側に適当なカップなどで受ける様にします。



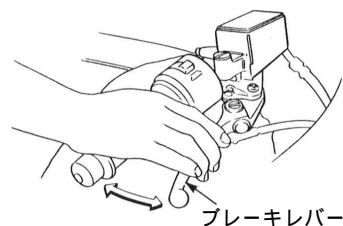
マスターシリンダーのオイルカップ部にブレーキ液を上限線まで補給します。



⚠ 注意: ゴミや水を混入させない事。

⚠ 注意: 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
 ブレーキオイル DOT4.

ブリーダーバルブを1/2回転緩め、ブレーキレバーを握る、放すを繰り返し、ブリーダーバルブからブレーキ液が充分出てくるまでこの操作を繰り返します。
 オイルカップのブレーキ液量に注意し新しいブレーキ液を補充しながら作業を行って下さい。



⚠ 警告

ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。万一、付着した場合はパッドは交換し、ディスクローターは脱脂する事。損傷部品が見つければその部品は必ず新品と交換する事。

ブレーキレバーを握った状態のままにしてキャリパーのブリーダーバルブを締め付けます。
 ブレーキレバーをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。

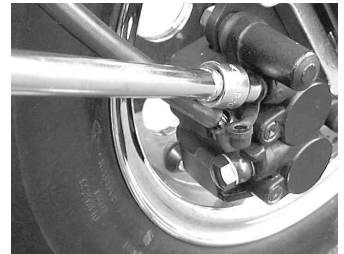


ブレーキレバーを握ったまま、キャリパーのブリーダーバルブを1/2回転緩めた後、再び締め付けます。

ブレーキレバーをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。

ブリーダーバルブから気泡が出なくなるまで、この操作を繰り返します。
 時々、ブレーキ液量を確認し、下限線付近まで減少していれば補給します。

エアの混入がなければブリーダーバルブを規定トルクで締め付けます。



⚠ 注意: 必ず規定トルクを守る事。

$T = 6 \text{ N} \cdot \text{m} (0.6 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

オイルカップの上限線までブレーキ液を補充し、ダイヤフラム、マスターシリンダーキャップをフラットパンスクリューを用いて取り付けます。



⚠ 注意: ゴミや水を混入させない事。

⚠ 注意: 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
 ブレーキオイル DOT4.